

## 臨床実習終了後OSCE 信州SP研究会との反省会

日時：平成28年7月11日（月）

16:00-17:00

場所：基礎棟5階第1会議室

出席者：信州SP研究会員12名

医学教育研修センター教員3名



### 良かった点

- ・回を積み重ねてきて過去の経験もあり、全体的にスムーズに進んだ。
- ・SPのみなさんがよく練習され、課題について共通認識を持っていたので、ブース間の差がなく、質の高い試験環境を提供できた。

### 疑問・質問

- ・昨年に比べ、今回の試験では、比較的自由に話して良いとのことだったが、なぜか。
  - ▶昨年度は受け答えの自由度を低く設定したが、本年度は逆に受け答えの自由度を高くし（比較的自由に話してもよし）、自然な形の医療面接を目指したところ、その目的を達することができたと思う。両方のパターンを体験していただいたので、来年以降の試験に活かしていきたい。
- ・今年の問題は簡単すぎたのではなかったか。
  - ▶今回の問題ができれば、研修医として充分やっていける出題内容であった。簡単な問題であれば全体の合格点は上がるように設定されているので、きちんと問題の難易度は結果に反映されている。個々の学生の点数を見ても、臨床実習の結果と通じるところが多く、SP研究会が良い形で機能したと考えられる。
- ・学生によってはSPがシナリオ通りに話しても、SPが話しづらい誘導方法で医療面接をする学生もいる。どうすればよいか。
  - ▶SPが学生と面談に臨んだ際はその場の判断で「シナリオの内容を進んで語りたい」と思われればお話しいただき、そうでなければお話しいただく必要はない。

### 今後について（医学教育研修センターより）

- ・来年度からは、臨床実習終了後OSCEも共用試験OSCEと同様、病院外来診療棟において実施する予定であり、また課題数も2から3へ増やしたいと考えている。そのため、SP会員の増員が急務であり、SP会員の皆さんのお知り合いの中に良い方がいらっしゃったら、お声掛けをお願いしたい。また、ブースを増やすにあたり、今後SPの方には、お一人1ブースで担当をお願いすることになると思う。信州SPの方々は非常に優秀なので、一人でも充分にやっていけると感じている。ご協力のほどをお願いしたい。